



## 2025年6月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2025年2月14日

上場会社名 株式会社 自重堂

上場取引所 東

コード番号 3597 URL <https://www.jichodo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 出原 正貴

問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務本部本部長 (氏名) 出原 正博

TEL 0847-51-8111

半期報告書提出予定日 2025年2月14日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年6月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年7月1日～2024年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期中間期	7,595	12.6	891	46.1	1,147	35.4	801	34.3
2024年6月期中間期	8,693	4.3	1,652	10.7	1,776	30.6	1,220	34.4

(注) 包括利益 2025年6月期中間期 742百万円 (49.3%) 2024年6月期中間期 1,463百万円 (46.4%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期中間期	278.12	
2024年6月期中間期	423.52	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期中間期	41,387	37,626	90.9
2024年6月期	41,614	38,326	92.1

(参考) 自己資本 2025年6月期中間期 37,626百万円 2024年6月期 38,326百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期		0.00		500.00	500.00
2025年6月期		0.00			
2025年6月期(予想)				500.00	500.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年6月期の連結業績予想(2024年7月1日～2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,500	8.1	1,800	31.0	2,100	28.8	1,500	25.6	520.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年6月期中間期	2,882,848 株	2024年6月期	2,882,848 株
期末自己株式数	2025年6月期中間期	565 株	2024年6月期	481 株
期中平均株式数(中間期)	2025年6月期中間期	2,882,336 株	2024年6月期中間期	2,882,581 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する事項は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(中間連結貸借対照表に関する注記) .....	9
(中間連結損益計算書に関する注記) .....	9
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年7月1日～2024年12月31日)におけるわが国経済は、社会・経済活動の正常化や雇用・所得環境の改善により、回復基調で推移いたしました。一方で、円安の継続、原材料価格の上昇等による物価高、不安定な国際情勢や、中国・欧州経済の減速による景気への影響等が懸念され、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと当社グループにおきましては、素材・エネルギー価格の上昇や円安の継続により引き続き生産コストは上昇傾向にありますが、ワークウェア業界全体の連続値上げにより、業界を支える販売代理店を取り巻く環境が悪化していることも考慮し、今秋冬商戦においては戦略的に値上げを見送り価格据え置きといたしました。価格据え置きを積極的にPRし、シェアの拡大、販売点数の増加による売上・利益の確保に努めてまいりました。

「JICHODO(ジチョウドウ)」ブランドにおいては、保守本流のワークウェアとして、ユーザー様の様々な職場環境、労働環境に適応し、ユーザー様の事業活動・環境対策活動をサポートする、多様な機能性商品、環境配慮型商品を積極的にPRし、需要の掘り起こしと、受注拡大に努めました。「Z-DRAGON(ジードラゴン)」ブランドにおいては、高ストレッチ性による動きやすさ等の機能性はもちろんのこと「カッコイイ」デザイン性も兼ね備え、且つ、価格訴求力のあるワークウェアを展開し、SNSを中心に効率的な広告宣伝活動を行い、個人向け、企業向け両面で受注拡大に注力いたしました。

前述のとおり、生産コストの上昇が続く中、業界の活性化を考慮して戦略的に販売価格据え置きとした状況において、更なる経費削減を徹底し利益の確保に努める一方で、広告宣伝の強化など、必要な投資は積極的に行い、ブランド認知度の向上を図り、売上・利益の拡大に注力してまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高は、資源・エネルギー価格の高騰に伴うユーザー企業様の経費削減意識の高まりにより、別注商品(各ユーザー企業様オリジナルのユニフォーム)の更新需要、新規案件が減少したことや、残暑が長引いたことで秋冬商戦のスタートが遅れたことなどにより、7,595百万円(前年同期比12.6%減)となりました。営業利益については、売上の減少に伴い粗利額が減少したことなどにより、891百万円(前年同期比46.1%減)となりました。経常利益は、輸入取引に係る為替変動リスクをヘッジする目的で行っております為替予約取引に係る時価評価によるデリバティブ評価益を計上したことなどにより、1,147百万円(前年同期比35.4%減)となり、親会社株主に帰属する中間純利益は、801百万円(前年同期比34.3%減)となりました。

なお、当社グループは単一セグメントに該当するため、セグメント情報は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ226百万円減少し、41,387百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ276百万円減少し、30,095百万円となりました。これは主に、現金及び預金が2,289百万円、原材料及び貯蔵品が248百万円、それぞれ増加したことと、受取手形及び売掛金が835百万円、商品及び製品が2,025百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ49百万円増加し、11,291百万円となりました。これは主に、投資その他の資産その他が130百万円増加したことなどによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ512百万円増加し、2,395百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が708百万円、未払金が258百万円、それぞれ増加したことと、未払法人税等が149百万円、流動負債その他が242百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ39百万円減少し、1,366百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ699百万円減少し、37,626百万円となりました。これは主に、利益剰余金が639百万円減少したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の中間期末残高は、前連結会計年度より2,289百万円増加し、13,301百万円(前連結会計年度比20.8%増)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は3,782百万円(前年同期は1,486百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益1,147百万円、売上債権の減少835百万円、棚卸資産の減少1,775百万円、仕入債務の増加708百万円等による増加と、デリバティブ評価益117百万円、法人税等の支払額408百万円等による減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は104百万円(前年同期は1百万円の獲得)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,388百万円(前年同期は1,439百万円の使用)となりました。これは主に、配当金の支払額1,387百万円等による減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、景気の先行きは不透明な状況が続くものと思われ、中間期の実績も踏まえ、2025年6月期通期の連結業績予想について、売上高は、15,500百万円、営業利益は1,800百万円、経常利益は2,100百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,500百万円にそれぞれ修正いたします。詳細は、「業績予想の修正に関するお知らせ」をご確認ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,012,240	13,301,895
受取手形及び売掛金	4,369,019	3,533,554
商品及び製品	13,851,256	11,826,100
仕掛品	4,729	5,579
原材料及び貯蔵品	975,177	1,224,079
その他	161,506	209,271
貸倒引当金	△1,600	△4,587
流動資産合計	30,372,328	30,095,892
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,479,170	1,443,394
土地	3,939,278	3,939,278
その他(純額)	283,545	271,309
有形固定資産合計	5,701,994	5,653,983
無形固定資産		
無形固定資産	19,326	18,596
投資その他の資産		
投資有価証券	3,990,891	3,946,272
関係会社出資金	124,717	135,496
繰延税金資産	-	2,601
その他	1,464,185	1,595,045
貸倒引当金	△59,333	△60,412
投資その他の資産合計	5,520,460	5,619,002
固定資産合計	11,241,782	11,291,581
資産合計	41,614,111	41,387,474

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	633,923	1,342,283
未払金	188,422	447,316
未払法人税等	466,387	316,841
賞与引当金	78,231	16,073
その他	515,210	272,619
流動負債合計	1,882,175	2,395,135
固定負債		
退職給付に係る負債	482,830	452,385
繰延税金負債	393,714	408,914
その他	529,317	504,718
固定負債合計	1,405,862	1,366,018
負債合計	3,288,038	3,761,153
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,982,499	2,982,499
資本剰余金	1,827,189	1,827,189
利益剰余金	31,503,981	30,864,427
自己株式	△4,463	△5,273
株主資本合計	36,309,206	35,668,843
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,956,057	1,889,118
為替換算調整勘定	21,515	34,719
退職給付に係る調整累計額	39,291	33,639
その他の包括利益累計額合計	2,016,865	1,957,477
純資産合計	38,326,072	37,626,320
負債純資産合計	41,614,111	41,387,474

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
売上高	8,693,800	7,595,927
売上原価	5,651,582	5,179,810
売上総利益	3,042,218	2,416,116
販売費及び一般管理費	1,389,712	1,524,786
営業利益	1,652,505	891,330
営業外収益		
受取利息及び配当金	60,161	72,139
為替差益	404,274	-
デリバティブ評価益	-	117,437
受取賃貸料	15,599	6,331
その他	106,980	80,703
営業外収益合計	587,016	276,612
営業外費用		
賃貸収入原価	5,605	2,986
為替差損	-	14,961
デリバティブ評価損	454,271	-
その他	2,908	2,468
営業外費用合計	462,785	20,416
経常利益	1,776,736	1,147,526
特別損失		
固定資産除売却損	980	0
特別損失合計	980	0
税金等調整前中間純利益	1,775,755	1,147,526
法人税、住民税及び事業税	518,001	301,435
法人税等調整額	36,932	44,461
法人税等合計	554,934	345,896
中間純利益	1,220,820	801,629
親会社株主に帰属する中間純利益	1,220,820	801,629



(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
中間純利益	1,220,820	801,629
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	240,468	△66,939
為替換算調整勘定	6,056	13,203
退職給付に係る調整額	△3,606	△5,652
その他の包括利益合計	242,918	△59,387
中間包括利益	1,463,739	742,241
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,463,739	742,241

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	1,775,755	1,147,526
減価償却費	78,632	70,848
貸倒引当金の増減額(△は減少)	11,702	4,066
賞与引当金の増減額(△は減少)	△80,854	△62,158
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△16,432	△38,578
受取利息及び受取配当金	△60,161	△72,139
デリバティブ評価損益(△は益)	454,271	△117,437
売上債権の増減額(△は増加)	462,706	835,465
棚卸資産の増減額(△は増加)	15,081	1,775,403
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,011,420	708,360
その他	332,562	△132,384
小計	1,961,843	4,118,971
利息及び配当金の受取額	60,161	72,139
法人税等の支払額	△535,937	△408,392
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,486,067	3,782,718
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,561	△22,105
投資有価証券の取得による支出	△4,500	△51,696
保険積立金の積立による支出	△13,876	△12,041
その他	21,794	△18,695
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,855	△104,538
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△792	△810
配当金の支払額	△1,438,440	△1,387,840
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,439,233	△1,388,650
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,602	125
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	53,293	2,289,654
現金及び現金同等物の期首残高	8,702,428	11,012,240
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,755,721	13,301,895

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

※ 中間連結会計期間末日満期手形

中間連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、当中間連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の中間連結会計期間末日満期手形が中間連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (2024年12月31日)
受取手形	144,926千円	150,510千円

(中間連結損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
役員報酬・給料	411,186千円	403,916千円
広告宣伝費	220,273	403,806
貸倒引当金繰入額	11,702	4,066
賞与引当金繰入額	7,657	7,774
退職給付費用	5,997	1,831

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
現金及び預金勘定	8,755,721千円	13,301,895千円
預入期間が3か月を超える定期預金	—	—
現金及び現金同等物	8,755,721	13,301,895

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)及び当中間連結会計期間(自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)

当社グループは、衣料品製造販売を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。